

尾張名古屋の絵師たち 高雅・清を中心に

平成 25 年 6 月 1 日(土)～7 月 21 日(日)

【前期:6/1(土)～6/23(日) 後期:6/25(火)～7/21(日)】

「尾張名古屋は城でもつ」と謳われた城下町・名古屋。江戸時代、東海随一の都市として発展し、そのにぎわいは名古屋を活動拠点とした絵師たちによって描き出されてきました。

本展では、大和絵系絵師の森高雅(1791～1864)と渡辺清(1778～1861)をはじめ、尾張名古屋を拠点に活躍した絵師に焦点をあて、彼らが描き出した尾張名古屋の活況を今に紹介します。

名 称	時代・世紀	展示期間	所 蔵 者
東照宮祭礼競演			
特別公開			
名古屋東照宮祭礼図屏風	六曲一双 江戸 17	前	個人蔵
1 名古屋東照宮祭礼図巻	四巻の内 江戸 18		徳川美術館
2 名古屋東照宮祭礼図巻 総巻 森高雅筆	九巻の内 江戸 文政 5 年<1822>		徳川美術館
3 名古屋東照宮祭礼図巻 第2巻 森高雅筆	九巻の内 江戸 文政 5 年<1822>		徳川美術館
4 名古屋東照宮祭礼図巻 第4巻 森高雅筆	九巻の内 江戸 文政 5 年<1822>		徳川美術館
5 名古屋東照宮祭礼図下絵(写し)	江戸 文政 4 年<1821>	後	徳川美術館
6 名古屋東照宮祭礼図巻 第六巻 森高雅筆	九巻の内 江戸 文政 5 年<1822>	後	泥江縣神社
7 名古屋東照宮祭礼図巻 第二巻 森高雅筆	七巻の内 江戸 文政 5 年<1822>	後	徳川美術館
8 名古屋東照宮祭礼図巻 第八巻 森高雅筆	九巻の内 江戸 文政 5 年<1822>	後	名古屋市博物館
9 名古屋東照宮祭礼留	江戸 文政 5 年<1822>		徳川美術館
10 名古屋東照宮祭礼警護行列書	明治 明治 4 年<1871>		徳川美術館
11 名古屋東照宮祭礼図巻 鬼頭道恭筆	江戸-明治 19		徳川美術館
12 名古屋東照宮祭礼図 (『尾張名所図会』前編 巻一)			
小田切春江画 七冊の内 大脇家寄贈	江戸 天保15年<1844>		徳川美術館

尾張名古屋のにぎわい

13 泉涌寺靈宝拝見図 高力猿猴庵著・画	江戸 天明 5 年<1785>	前	名古屋市博物館
14 相州竜口寺靈宝内拝図 小田切春江転写	江戸 文政 9 年<1826>	前	名古屋市博物館
15 嵯峨靈仏開帳志 高力猿猴庵著・画	江戸 天明 5 年<1785>	後	名古屋市博物館
16 嵯峨靈仏開帳志 小田切春江転写	江戸 文政 2 年<1819>	後	名古屋市博物館
17 御鋤祭真景図略 第一・二冊 小田切春江転写	三冊の内 江戸 文政11年<1828>		名古屋市博物館
18 御鋤祭真景図略 第三冊 高力猿猴庵著・画	三冊の内 江戸 文政10年<1827>		名古屋市博物館
19 開帳談話 高力猿猴庵著・画	江戸 文政12年<1829>		名古屋市蓬左文庫
20 画本開帳談話 小田切春江転写	江戸 19		名古屋市博物館

名 称	時代・世紀	展示期間	所 蔵 者
21 尾張名所団扇絵 桜天神植木市 森高雅筆	江戸 19	前	名古屋市博物館
22 尾張名所団扇絵 堀川花盛 森高雅筆	江戸 19	前	徳川林政史研究所
23 尾張名所団扇絵 大須観音 森高雅筆	江戸 19	後	名古屋市博物館
24 尾張名所団扇絵 天王崎祭礼 森高雅筆	江戸 19	後	名古屋市博物館
25 尾張名所団扇絵 上材木町盆中灯籠 森高雅筆	江戸 19	後	名古屋市博物館
26 堀川日置橋より兩岸の桜を望む図 (『尾張名所図会』前編 巻一) 森高雅画 七冊の内 大脇家寄贈	江戸 天保15年<1844>	前	徳川美術館
27 潮湯治図(『尾張名所図会』前編 巻六) 森高雅画 七冊の内 大脇家寄贈	江戸 天保15年<1844>	前	徳川美術館
28 一の鳥居 寒中大宮夜祭参りの図 (『尾張名所図会』前編 巻三) 森高雅画 大脇家寄贈 七冊の内	江戸 天保15年<1844>	後	徳川美術館
29 尾張名所図屏風 森高雅筆 六曲一双の内	江戸 安政3年<1856>		徳川美術館
30 柳葉師夜開帳図 森高雅筆 砂川家寄贈	江戸 19	前	徳川美術館
31 参府行列図(尾張家参勤交代図) 小田切春江筆	江戸 19		徳川美術館
32 金鯪図 渡辺清筆	江戸 19	後	個人蔵
33 名古屋城天守図 小田切春江筆 「懐旧詩歌貼込巻」の内	明治 明治13年<1880>	前	徳川美術館

人のすがた 千変万化

34 写真学筆 墨僊叢画 牧墨僊画	江戸 文化12年<1815>	序	名古屋市蓬左文庫
35 神事行燈 第一冊 大石真虎画 五冊の内	江戸 文政12年<1829>		名古屋市蓬左文庫
36 龕画百物 大石真虎画 二冊	江戸 天保3年<1832>		名古屋市蓬左文庫
37 美人図押絵貼屏風 森高雅筆 二曲一双の内	江戸 19		名古屋市博物館
38 浅井斗崑翁像 森高雅筆 浅井玄吾氏寄贈	江戸 19	後	徳川美術館
39 西山玄道画像 森高雅筆 市指定	江戸 天保12年<1841>	後	東山植物園
40 野間多喜画像 森高雅筆 市指定	江戸 19	後	東山植物園
41 伊藤圭介画像 森高雅筆 市指定	江戸 19	前	東山植物園
42 森高雅自画像	江戸 万延2年<1861>	前	名古屋市博物館
43 松尾不俊斎画像(墨画) 宙宝宗宇賛・渡辺清筆	江戸 19	前	個人蔵
44 松尾不俊斎画像 宙宝宗宇賛・渡辺清筆	江戸 19	後	個人蔵
45 養老孝子図 渡辺清筆	江戸 19	前	個人蔵
46 くらべ馬図 渡辺清筆	江戸 19	後	個人蔵
47 十二月行事図絵巻 渡辺清筆	江戸 19		名古屋市博物館

花鳥風月 風雅なる世界

48 月に竹図屏風 渡辺清筆 二曲一隻 高麗屋寄贈	江戸 19	前	徳川美術館
49 南天・若竹図衝立 渡辺清筆 大脇家寄贈	江戸 19	後	徳川美術館
50 貝合わせ図 渡辺清筆	江戸 19	前	徳川美術館
51 福寿草図 古筆手鑑「鳳凰台」人名録附属 表紙:渡辺清筆 岡谷家寄贈 二冊	江戸 弘化2年<1845>		徳川美術館
52 名家画譜 艸名集 三冊	江戸 文政5-10年<1822-27>		徳川林政史研究所

前期は6/1(土)から6/23(日)まで、後期は6/25(火)から7/21(日)まで、期間表示のない作品は全期間展示します。ただし会期中巻き替え・入れ替えを行います。ご了承下さい。

尾張のまつり

平成25年 6月1日(土)～7月21日(日)

江戸時代の尾張地方では、名古屋城下や近郊の寺社を中心に様々なまつりが行われました。なかでも、家康を祀る名古屋東照宮の祭礼や、津島天王社をはじめ各地で行われた天王まつりは、からくり人形を載せた山車^{だし}が出るなどたいへん壮麗なものでした。この展示では、徳川園山車揃え(6月2日)にも登場する「神皇車」^{じんこうしゃ}のからくり人形や、『張州雑志』^{ちやうしゅうざっし}をはじめとする諸本・諸記録から、東照宮祭礼と天王まつりを中心に、近世尾張の華やかなまつりを紹介します。

所蔵者の表記がない作品は全て名古屋市蓬左文庫蔵

名称	時代・世紀	所蔵者
1 津島絵図	江戸 寛政6年<1794>	
2 張州雑志 卷六四 内藤東甫著 百冊の内	江戸 18	
3 張州雑志 卷七二 内藤東甫著 百冊の内	江戸 18	
4 張州雑志 卷七三 内藤東甫著 百冊の内	江戸 18	
5 張州雑志 卷七五 内藤東甫著 百冊の内	江戸 18	
6 津島踊記 真野時綱著・堀田知之補記	江戸 18	
7 尾張名所図会 前編 卷之七 小田切春江画 七冊の内	江戸 18	
8 津島朝祭全図	江戸 18-19	
9 神宮修正会 熱田祭奠年中行事図会 卷一 十巻の内	江戸 18	
10 踏歌の神事 熱田祭奠年中行事図会 卷二 十巻の内	江戸 19	
11 歩射的矢 熱田祭奠年中行事図会 卷三 十巻の内	江戸 19	
12 尾張名所図会 前編 卷之三 小田切春江画 七冊の内	江戸 天保15年<1844>	
13 南新宮天王祭 大山 熱田祭奠年中行事図会 卷七 十巻の内	江戸 19	
14 張州雑志 卷五二 内藤東甫著 百冊の内	江戸 18	
15 神功皇后 神皇車山車人形	江戸 天保13年<1842>	神皇車保存会
16 面被り巫女 神皇車山車人形	江戸 安政4年<1857>	神皇車保存会
17 名古屋東照宮祭礼図巻 第三巻 森高雅筆 七巻の内	江戸 18	名古屋市博物館
18 尾張名所図会 前編 卷之一 小田切春江画 七冊の内	江戸 天保15年<1844>	
19 愛知県社東照宮図 小田切春江画	明治 明治17年<1884>	
20 名古屋東照宮祭礼 張州雑志 内藤東甫著 卷二十・二一・二三 百冊の内	江戸 18	

以上